促通反復療法（川平法）

企画構成：理学療法科／米崎 真寿美

なになに？
ハイブリッド・リハビリテーション!!
Hybrid Rehabilitation

今回は、当院のハイブリッドリハの一環である「促通反復療法（川平法）」について、ご紹介します。当院では定期的に勉強会を開催してスタッフの技術向上を図り、脳卒中や脊髄損傷の患者様のリハビリに多く活用しています。

川平法とは

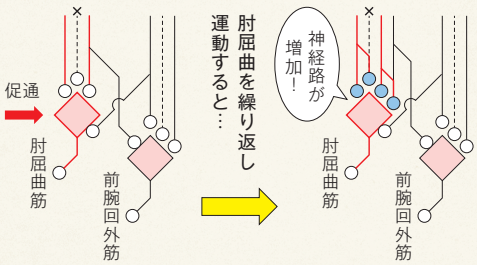
川平法は鹿児島大学名誉教授、促通反復療法研究所所長である川平和美先生が考案したリハビリの手技で、脳卒中後の後遺症などで表れる麻痺に対して、意識的な運動（随意運動）を反復して行うことで得られる脳の神経路の再建／強化を目的に、各関節の運動を繰り返し100回以上行って効果を得るものです。先生には当院へ2015年、2016年の2度ご来院頂き、リハ部の全スタッフが理論・実技についての講義を受けました。

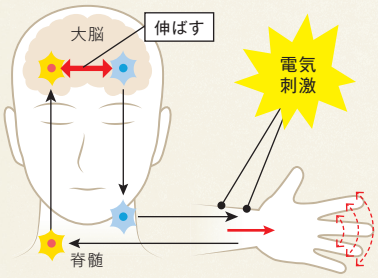
川平先生のレクチャーを受け、今後、更なる質の高い効果あるリハビリを提供できるよう、理学療法科・作業療法科の勉強会にて定期的に実技練習を行い、日々のリハビリに活用しています。

▲講義では、最新の科学的かつ効果的なリハビリテーションの紹介もありました。

川平法の仕組みと効果

人間の脳はたくさんの神経細胞と神経線維から成り立っています。運動を司る脳の部分にも幾多もの神経線維が走っています。その神経の興奮水準は、随意運動のときに最大となります。脳卒中や脊髄損傷により運動麻痺が生じても、わずかに自分の力で動かすことができれば、それを繰り返し行うことで神経の数を増やし、より難易度の高い運動に繋げていくことができます。促通反復療法（川平法）は促通しながら繰り返し運動を行うことにより、その神経に刺激を与え続けて、効率的に回復へと導いていきます。





川平先生の文献によると、通常のリハビリに加え、1つの関節運動につき1日100回の促通手技を繰り返すことで、通常のリハビリのみの場合と比べて、有意に上肢・下肢・手指の動きが改善したとの報告があります。この他にも、下堂園恵先生の文献では、通常のリハビリより川平法が麻痺の回復に効果があり、更に川平法+持続電気刺激を併用する事で麻痺の回復が有意であったと報告されています。川平法については、実証的検討が全国の病院・施設で進められており、有効性を示す研究結果が多数報告されています。

当院での事例紹介 ～通常のリハビリに加え、促通反復療法を併用して改善した一例～

方法　脳出血を発症し、左手に重い麻痺を患った40代の男性患者に対し、通常のリハビリに加え、1日100回の促通反復療法を上肢・下肢・手指に実践した。

結果　5ヶ月間、継続して行った結果、全く上がらなかった上肢は頭上まで上がるようになり、測定不能であった握力は20kgまで改善、杖をつき歩いて買い物へと行けるようになり1人暮らしを再開されました。